

昭和八年を展望して

希望に満ちて

處女會長

中平はな

ます。

心がまへ

時又處女會

伊原幸

ます。

貴女會

修養團體

の

年

度

は

い

る

と

く

れ

る

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

と

う

一百五十四回を生かせ

昨年四月迄に同發行されたの
みで以來委をかくしてゐた「龍丘時報」が昭和八年の新春と共に再び丘の村にすがたを表した。

「龍丘時報」の誕生もあり、
はつきりは誕生である。

昨年度迄は所謂無保證新聞であつたが、本年度は「五〇圓を納入しての新聞としての新聞「有保證新聞」であるが故に、本質的に「新聞」では從來からの時報の延長であり一時すがたをかくしたものゝ再びあるが、その持持する所の性能において表はれた所の性質において、將來ある活潑性において、無保證新聞とは全く異つた力をもつ機闘の誕生である。

「龍丘時報」が置く青年会の心を思ふと納入した今日喜びにおどる心と今時に「五〇圓」の有保證の價値を如何にしたら發揮しようかるかと想ひ責任の大きさを感ずる。

「龍丘時報」が置く青年会のものでなく、龍丘村全部のものであら村の各團體の一致協力によつて村の新聞としての眞面目を徐々に發揮すべきである事はすでに一般認知のことである。

然して青年會は、そして編輯部は、その直接編輯發行の任に當つてゐるのであるが、したがつてそこに編輯法の技術、原稿の蒐集、選擇の方法等の如何で時報の泰劣は決定されてゆくものである。

當面にたつ者の責や極めて大である。幸にして編集のペんを取る部員諸氏の強い信念と堅張と加ふるに委員長を始め委員諸氏の援助と輔導、教導と更に、一般一百人、内三分の二の一万人は就職戦と奮闘、努力と奮闘してゐる。委員諸君の絶大なる支持と、尙ほ丘の村にすがたを表したのを聞いて、意を強くしめるもので

ある。こゝにこそ龍丘時報の「村の新聞」としての飛躍があり、昭和八年の時報の前途懐然たる光明がある。

保證金を積んでゐても、實質において保證金の死んでゐる様な新聞もときには見受けれる。

龍丘時報は完全に、一五〇圓

主張

昨年四月迄に同發行されたの
みで以來委をかくしてゐた「龍丘時報」が昭和八年の新春と共に再び丘の村にすがたを表した。

「龍丘時報」の誕生もあり、
はつきりは誕生である。

昨年度迄は所謂無保證新聞であつたが、本年度は「五〇圓を納入しての新聞としての新聞「有保證新聞」であるが故に、本質的に「新聞」では從來からの時報の延長であり一時すがたをかくしたものゝ再びあるが、その持持する所の性能において表はれた所の性質において、將來ある活潑性において、無保證新聞とは全く異つた力をもつ機闘の誕生である。

「龍丘時報」が置く青年会の心を思ふと納入した今日喜びにおどる心と今時に「五〇圓」の有保證の價値を如何にしたら發揮しようかるかと想ひ責任の大きさを感ずる。

「龍丘時報」が置く青年会のものでなく、龍丘村全部のものであら村の各團體の一致協力によつて村の新聞としての眞面目を徐々に發揮すべきである事はすでに一般認知のことである。

然して青年會は、そして編輯部は、その直接編輯發行の任に當つてゐるのであるが、したがつてそこに編輯法の技術、原稿の蒐集、選擇の方法等の如何で時報の泰劣は決定されてゆくものである。

當面にたつ者の責や極めて大である。幸にして編集のペんを取る部員諸氏の強い信念と堅張と加ふるに委員長を始め委員諸氏の援助と輔導、教導と更に、一般一百人、内三分の二の一万人は就職戦と奮闘、努力と奮闘してゐる。委員諸君の絶大なる支持と、尙ほ丘の村にすがたを表したのを聞いて、意を強くしめるもので

ある。こゝにこそ龍丘時報の「村の新聞」としての飛躍があり、昭和八年の時報の前途懐然たる光明がある。

保證金を積んでゐても、實質において保證金の死んでゐる様な新聞もときには見受けれる。

龍丘時報は完全に、一五〇圓

松尾青年走書

(調査ブロク)

人々も餘りその迷離的態との張合を知らず、熱の消え失せ

る様になるであらう。

またくら會員にねつ情ありと云へどそれを指導する人々がいた

まことに、自分の力を散散する如き

態などをれば、必然的に衰退す

るであろう。ふぐら千里の馬を

伯樂がなければ駄馬に等しいだろ

う。

現状の松尾青年がその運動の惱

みのあるのは過去に於ける標榜青

年会としての表影の荷が餘りに

重過ぎる點がありわしないか

おろく購入し、一部のものに

に販賣代を現わしたのだ。

會員各自の認識は標頭しあたら

風景が正月には珍らしき好日和に

喜まれつゝ、山が谷を廻り一里餘

正月氣分漂ぶ山村、暁子連れて

乙女の「カルタ」に興じる聲を軒

に於て飯田行きにでも計画するらし

き青ねの聲を開きつゝ、村立千

代圖書館を訪る。

折から寄贈書籍の整理中なりし

小がく校の教員に案内され書棚一

藏書冊在實に三千五百五十冊。

購入費はすぐなくして「ねん」

百円、費用はせんぶ料費にして

青年會、處女會の分擔法は間違

いであると村当局者の意見によ

り評されないと。

經營方法は、小學校教員に貸出

責任者を置き、圖書係委員は村

立であると云ふ所より、青年會

、處女會等各團體より一名また

は名を挿び、これに當らしめ

る。

貸出方法は小がく校内にある關

係上一般へは毎日書間處賣出し

國體賣出は毎月、一二日夜間青

年會、一三日書間處賣處、夜

間千代館等にして、個人

の一日平均賣出人員は約七名

新購入法、村内一般より、そぞ

う書を裏り、これを各團體供應

員が基準として、もしなき場合

内訳

收入額八十六圓八十九錢

支出總額八拾八圓八拾九錢

内訳

一、〇〇〇 雜收入金

二、〇〇〇 茶話會費

三、〇〇〇 贈物賞與

四、八九 雜

七、〇〇 諸備費

美引残金無シ

ニズムの害毒性。

ある。こゝにこそ龍丘時報の「村の新聞」としての飛躍があり、昭和八年の時報の前途懐然たる光明がある。

保證金を積んでゐても、實質において保證金の死んでゐる様な新聞もときには見受けれる。

龍丘時報は完全に、一五〇圓

を生かしたい。廣く各方面の情勢を洞察して、昭和八年も亦非常時に一層の拍車がかけられる運動は六つ加數と綴述する熊とあります。

運動ははとつゝある分子もあるだら

をとりつゝある分子もあるだら

をとりつゝある分子もあるだら